



すいちゆう い もの おし
水中の生き物をつかまえる、しかけを教えて

しかけをつく
しかけを作ろう

すいちゆう い もの み もの あつ しゅうせい
 水中にすむ生き物は、身をかせる物かげがあると、そこへ集まってくる習性がありま
 す。これを利用します。葉のついた小枝がたくさん出ている木の枝などを何本かたばねて、
 ひもでしばり、きしべちか かわぞこ ひとばん つぎ あさ えだ ひ あ えだ
 岸辺近くの川底に、一晩しずめておきます。次の朝、枝を引き上げると、枝
 の間や、枝の下の川底に、子魚、ドジョウ、水生こん虫、エビなどが、かかれてい
 ます。
 さかな えだ した かわぞこ こざかな すいせい ちゅう
 魚やエビなどが、小さい入り口から中に入り、外に出られなくなる習性を利用したつか
 まえ方もあります。ペットボトルを切って、口のほうを、逆さにボトルにおしこんだ容器に、
 ドッグフードなどを入れて、一晩水底につけておきます。次の日見ると、ペットボトルの中
 に、さまざまな生き物が入っています。

ひかり りょう あつ
光を利用して集めよう

おとな が いっしょにいるときは、夜、車くるまのライトや、大型おおがたのかい中電灯ちゅうでんとうと、ライトの下に、
 みず を 1センチメートルぐらいの深さふかで入れた、平たいバットのようひらな入れ物い ものを用意よういします。
 でんとう と すいせい ちゅう せいちゅう
 電灯でんとうに飛んできた水生こん虫せいちゅうの成虫せいちゅう（ゲンゴロウ、ミズスマシ、カゲロウなど）が、水みず
 なか お あつ みず しょうどくよう い つぎ ひ
 中に落ちたのを集めます。水みずのかわりにバットに消毒用しょうどくようアルコールいを入れておくと、次の日つぎ
 の朝あさ、こん虫ちゅう（死しんでいることが多い）を集めることができます。

（監修・中山 周平）

